



GOVERNOR'S Monthly Letter

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー月信

October 2020
No. 4

10

ガバナー 野生司 義光

■ロータリーの会員増強と奨学金制度を考える

良く聞かれる話です。自分がロータリーに入ったときは、そのメンバーは大変な人たちで一杯だった。日本を代表する企業の社長たち。地元の有力企業の面々。有名なお医者さん。そういう人たちばかりだった。

ロータリーのメンバーは量より質だ。と昨今、言われている。

東京小石川ロータリークラブも、創立の時、東京北ロータリークラブから5人のメンバーが東京小石川ロータリークラブを創るべく、脱退した。

その名前は、講談社の野間省一氏、服部敏幸氏、共同印刷の大橋貞雄氏、博報堂の瀬木博信氏そして野生司建築設計事務所の野生司義章の5人です。

私がガバナーノミニデジグネートになった時に、小石川の出身ですか。と聞かれ、私も小石川に行きたかったけれど、他のロータリーを紹介されたという話を幾つも聞かされました。当時は小石川のメンバー数が80数人の時代だと思います。今の倍です。会員の人数が多ければ、メンバーの人選もできたのでしょう。

今はどうか。入会希望があれば、ほとんど100%入れています。これは会員数が少ないことも一因にあると思っています。会の運営上、一定の人数が必要なのです。50人以上の会員がいれば、より質を問うことができるようになるでしょう。

昔のロータリーは良かったという方、是非、会員増強に協力をお願いします。質の高い人を入れてください。

メンバー勧誘の時、礼を尽くして勧誘してください。JC、商工会議所、法人会等の会合の席で安易に誘わないでください。そのような会合で誘うと、「いやいや僕なんて」と言って断られるのが落ちです。

誘うときは、その方の会社まで出向いてください。一人でなく二人で行ってください。〇〇ロータリーを代表して来たと言ってください。手土産も忘れないでください。この地区を代表するあなたをお誘いに来たと言ってください。礼を尽くせば、わかってもらえます。

訪問するときに、ロータリーの勧誘に行くといわないでください。言えば相手は構えます。そして、周りにロータリーとは何だと聞きまわります。その時に、金持ちのボンボンの集まりだという人もいるかもしれません。ロータリー

を辞められた方に聞くかもしれません。ちょっと行くだけで答えてください。

今、日本人の海外留学が昔に比べて少ないように思います。日本に一流大学が多いからでしょうか。そうは思いません。

「THE 世界ランキング 2020」では東大は36位、トップ200に日本は2校のみ、中国7校、韓国6校。アジアのトップ2大学を有する中国は23位に精華大学24位に北京大学がランクインしている。お隣の韓国は64位にソウル大学、89位に成均館大学が入っている。

世界のトップ10を見てみましょう。1位オックスフォード大学（英国）、2位カルフォルニア工科大学（アメリカ）、3位ケンブリッジ大学（英国）、4位スタンフォード大学（アメリカ）、5位マサチューセッツ工科大学（アメリカ）、6位プリンストン大学（アメリカ）、7位ハーバード大学（アメリカ）、8位イェール大学（アメリカ）、9位シカゴ大学（アメリカ）、10位インペリアル・カレッジ・ロンドン（英国）となっています。

世界のトップ10はイギリス3校、アメリカ7校なのです。次に世界のGDP（国内総生産2020予想）を見てみましょう。1位アメリカ、2位中国、3位日本の順です。

米山奨学金の留学生の選考に2、3回関わりあいました。留学生は大変優秀です。特に中国の学生は優秀です。現在40%以上の米山奨学生が中国人です。その位、中国人は優秀なのです。

いまや、中国はGDP、軍事力共、日本を上回っているのです。米山梅吉翁が、この基金を作った時と現代は状況が少し違うかもしれないという気がしています。

今日本人が、アメリカやイギリスに留学しようと思うと学費だけで1,000万円、生活費は、日本より高いのです。それへの援助に少し回せないだろうか、思うことがしばしばです。

ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としていることは分かっております。米山梅吉の墓参をして本人に尋ねてみたいと思います。

是非、この文を読まれた方、感想をお聞かせください。よろしくお願い致します。

地区委員会 今年度の活動方針

奉仕プロジェクトグループ

リーダー 高橋 博文
(東京東久留米 RC)



野生司ガバナーは「ロータリーは機会の扉を開く」をテーマとして掲げ、公共イメージの向上・ロータリーリーダーの開催・会員増強を通じて、ロータリーを楽しんで仲間を増やすことを呼びかけております。

公共イメージの向上と会員増強を実現するためには、各クラブが元気に活動し、強固なクラブの基盤が必要です。

参加者の積極的なかわりを促し、より大きなインパクトをもたらす奉仕活動に各クラブが取り組むことを目指して、地区奉仕プロジェクトグループは、地区社会奉仕委員会・地区国際奉仕委員会・地区青少年奉仕委員会の3委員会合同で、クラブの奉仕活動の情報を交換する場を持ちたいと考えております。

既にRIでも奉仕委員会を統合させ、一体で運営するようになってきております。

つきましては、奉仕部門を、そしてクラブを超えて、皆さまが行っている素晴らしい奉仕活動を地区全体で共有する場として、奉仕活動情報交換研究会を行います。

また、2021年4月に開催される地区大会の“友愛の広場”でもパネル展示を行い、奉仕活動情報を間近に触れる機会を設ける予定です。

また現在、コロナ禍に於いて各クラブで予定されている様々な奉仕活動を行うことが困難な状況を鑑み、変化するニーズ・状況に応じた具体的な奉仕活動の有益な情報を迅速に提供して参りたいと思います。

奉仕の実践を通して、クラブと会員の皆さまの活性化に繋がられる一助となれますよう活動して参りますので、皆さまのご協力を宜しくお願い申し上げます。

クラブ運営支援委員会

委員長 藤田 哲朗
(東京後楽 RC)



野生司ガバナーによる2020-21年度地区活動方針の通り ①会員増強 ②公共イメージの向上 ③ロータリーリーダーの開催の3点が挙げられています。

この地区活動方針に沿って、クラブ運営支援委員会も活動してまいります。

まずは各クラブの現状把握のため、地区拡大増強委員会、地区公共イメージ向上委員会、地区クラブ運営支援委員会の3委員会合同でアンケート用紙を70クラブの各会長、幹事様宛に送らせていただきました。

昨年度の3月よりコロナウィルス(COVID-19)の為、ロータリー活動が停滞してしまい、各クラブの現状を把握し、地区全体でこの難局を乗り越える手段はないか手探りでさがし求めている所存です。すでに新しい生活様式(ニューノーマル)の中で、ロータリー活動も変わろうとしています。

この流れをスムーズに各クラブが取り入れられるようクラブ運営支援を行っていかねばと考える。

具体的には、クラブ運営支援委員会による各クラブの管理運営委員長(クラブ奉仕委員長)の会合を開催できればと思います。

拡大増強委員会と公共イメージ向上委員会と連絡を取りながら、1年間3つの活動方針を全うできますよう活動してまいります。

公共イメージ向上委員会

委員長 半場 慎一
(東京新都心 RC)



①クラブの奉仕活動を公共イメージ向上委員会又は担当者を中心にPR(Public Relation)しましょう。

②クラブがある地域の行政機関広報窓口との繋がりを持ちましょう。(奉仕活動の共催など)

・ガバメントリレーション(Government Relation)

・広報担当者に卓話に来て頂けるよう促進する。

▶行政は新型コロナウイルス感染症対応が最優先ですので2021年又は次年度へスライドも想定される。

③クラブのホームページやFacebook、SNSを活用しましょう。定期的な更新を心掛ける。

④ロータリーリーダーの開催をしましょう。

ロータリークラブメンバー以外の人たちに私たちの活動を知ってもらいましょう。認識(実施内容)と参加(拡散)をする。

▶新型コロナウイルス感染症の状況判断で各分区開催中止や開催未定が現状です。年内は屋外イベントであっても延期、中止が多いことから2021年又は次年度へのスライドも考えられる

⑤RIのビジュアルアイデンティティ(Visual Identity)を理解しましょう。国際ロータリーウェブサイト→ブランド

リソースセンター→ロゴ→テンプレートで作成可能です。クラブが何か作成するときにはガイドを必ず参照するようにお願い致します。

まず分かりやすいのは、「色」だと思います。ウェブサイト、週報、プログラム、バナーなどクラブの作成物の色を、28ページのカラーパレットから選択していただきロータリーの公共イメージ統一に貢献頂くようにクラブのメンバーへ認知の呼びかけを宜しくお願い致します。

ティファニーのブルー、カルティエの赤、みずほ銀行の青、りそな銀行の緑など色の統一に関しては皆様のご理解を得られやすいかと存じます。

ガバナー事務所では、印刷会社やウェブの担当会社様にガイドを渡して色やフォントなどを守っていただくようお願いしております。

ガイドは国際ロータリー本部が作成したものです。ブランドリソースセンターのガイドラインのページからダウンロードすることができます。

<https://brandcenter.rotary.org/ja-JP/Guidelines>

職業奉仕委員会

委員長 比留間 孝司
(東京武蔵村山 RC)

今年度の活動方針としては、まず卓話依頼や資料提供の要請に積極的に応対して参ります。

すでに各クラブにて、会員卓話や職場見学、クラブフォーラムなど様々な企画が実施されています。『親睦』を育み、多様な職業人が経験を披露する時間と空間の蓄積は、ロータリーならではの職業倫理向上の機会であり続けると思います。

ではいま、地区委員会としてどんなお手伝いを考えるのか。そのポイントは2点です。これまでの普遍的な価値観に向けた新鮮な問題提起の機会を提供すること。そして議論を深める視座を提示していくこと。この『機会』と『視座』を詰めて行くことが私たちのテーマです。

今年度は地区研修会の主題を『職業奉仕』として頂き、概要次のようなセミナーを企画致しました。

地区研修会 『職業奉仕』

2020年12月3日(木曜日)14時30分より

ホテルグランドパレスにて

講演、大阪学院大学経済学部教授、森田健司氏

CSR/SDGsの時代に考える『職業奉仕』

～いまこそ江戸商家の思想に学べ

質疑応答、グループディスカッションも予定。

現況を踏まえ、地区研修委員会に協調して慎重に段取りを

進めて参ります。

是非とも皆様のご参加をよろしくお願い申し上げます。

ロータリー財団委員会

委員長 吉田 雅俊
(東京新都心 RC)

今年2月から世界中を襲い、いまだ終息の気配がみられない新型コロナウイルス禍は、人々のライフスタイルやビジネスモデル等に不可逆的な変化をもたらし、まさにそれが現在進行中であります。

ロータリーの活動におきましても例外ではなく、海外渡航の制限もあり「国際奉仕活動」等は、実施面で難しい局面に至っております。担当者を決め実際に地域を調査し、支援先を選定したり、活動概要を決めるには時間がかかります。早めにロータリークラブらしいコロナ関連の社会奉仕活動を検討して頂くのも一考かと思えます。こんな時こそ「国際奉仕」や「青少年奉仕」の火を消してはいけないという考えもありますが、せつかく計画しても、結局中止になったのでは有効な奉仕活動を行なうことができません。この現状から考えると、今年度は「社会奉仕活動」が我々ロータリアンにとって、効果的な奉仕の対象となると思えます。早めにロータリーらしい社会奉仕活動の計画検討を進めて頂きたいと思えます。

世界保健機関(WHO)は、8月25日、WHO アフリカ地域の全47カ国において野生型ポリオウイルスの伝播が正式に断ち切られたことを発表しました。ポリオ根絶に向けて力を注ぐのも奉仕活動の選択肢の一つだと思います。今年度の地区ロータリー財団の寄付の目標は前期同様のロータリアン1人230ドルと、各ロータリークラブから最低お一人がPHSメンバーになられることと致しました。地区ロータリアンのご賛同ご協力を宜しくお願い致します。

米山奨学委員会

委員長 高橋 義一
(東京小石川 RC)

米山奨学事業は、例年4月に奨学生・カウンセラーセミナー・始業式、5月に次年度の募集のための大学説明会、6月に会長エレクト・次年度クラブ米山奨学委員長セミナー、9月に米山梅吉記念館への訪問と柿田川での自然保護活動と一連の日程からスタートします。ところが今年は



新型コロナウイルスの感染拡大により、人数制限や広い会場を使った3密対策、リモートや録画を使うなどいろいろな方法を取り入れ、何とかこれまでそれぞれの目的を果たしてまいりました。

また今年度は米山事業推進カンファレンスという新しい企画を行いました。従来の会長エレクト・次年度米山奨学委員長セミナーに代わるもので、ウィズコロナの時代でも米山事業が今まで以上に継続されるよう、セミナー形態から皆さんと課題を共有し問題解決へすすめられるようにカ

ンファレンス形態を企画してみました。2020学年度より奨学会との委託契約の締結が始まることから、業務委託・覚書書作成の際に規定検討委員としてご苦労された上山昭治バスターガバナーにお話を頂きました。

一方委員会では、奨学生同士の交流を深めたり、ロータリー精神を学べる機会をふやせるよう、リモート時代に即した方法なども検討中です。辛い年度になりましたが、新しい時代にバトンタッチをする節目の年になればと気持ちを高めております。

クラブのロータリー旗に関するお願い

ロータリーが公共イメージの向上に注力していることはご存知の通りですが、統一したイメージを打ち出すことが重要です。そこで当地区といたしましては、クラブのロータリー旗も同一デザインを推奨することにいたしました。

以下2種類のデザインがあります。公認業者（オクトン、フジマキネクタイ等）は国際ロータリー本部のライセンス部署に確認を取った上でグッズ販売を行っていますので、どちらも間違いではありませんが、もし近いうちに旗を作り直すご予定がありましたら、左側の地区推奨デザインにてお作りいただければ幸いです。

これより古いデザインの旗を使い続けていらっしゃるクラブにおかれましては、この機会にぜひ地区推奨デザインでの作成をご検討ください。

何卒よろしくお願い申し上げます。

当地区推奨デザイン



会員数報告

2020年7月1日 クラブ数	70	RC
2020年7月1日 会員数	2,868	名
(内女性)	204	名
2020年8月31日 クラブ数	70	RC
2020年8月31日 会員数	2,920	名
(内女性)	205	名
2020-21 年度入会者	72	名
2020-21 年度退会者	20	名
2020-21 年度会員増減数	52	名

【哀悼】 謹んで哀悼の意を表します

東京秋川ロータリークラブ

はせがわ やすとし
長谷川 安年 会員

逝去日 2020年7月1日 享年 92

入会日 1973年6月22日

学校法人多摩川学園、
多摩川幼稚園理事長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者マルチプル



東京江北ロータリークラブ

こぐすり まさお
小薬 将夫 会員

逝去日 2020年8月11日 享年 85

入会日 1982年9月2日

株式会社丸正 代表取締役会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者



東京江北ロータリークラブ

たなか さぶろう
田中 三郎 名誉会員

逝去日 2020年8月25日 享年 102

入会日 1962年11月15日

千住金属工業株式会社 名誉顧問
ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者



東京葛飾ロータリークラブ

えんどう えいじ
遠藤 英二 会員

逝去日 2020年9月2日 享年 91

入会日 2004年7月6日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

